

# 一般会計 歳出

## 167億206万円

歳出総額は、前年度より7億3,878万6千円(4.2%)減の167億206万円となりました。

目的別歳出において、民生費は、介護給付費の増額および子ども医療費助成対象年齢拡大により増額となり、対前年7,625万円余(1.5%)の増額となりました。

教育費は、小中学校の耐震補強事業が終了したことにより対前年8億1,200万円余(35.0%)の減額となりました。

土木費は、下水道事業への繰出金が減額となったものの、社会資本整備総合交付金事業が増額となり、対前年2,786万円

余(1.4%)の増額となりました。

農林水産業費は、農林漁業資金償還金の減、ため池等整備事業および基盤整備事業費が減額となり、対前年9,437万円余(12.4%)の減額となりました。

消防費は、防災行政無線統合整備事業の減により、対前年3,697万円余(4.8%)の減額となりました。

性質別経費において、人件費は、定員適正化計画に基づく職員数の減や支給率の見直しにより減額となりました。

繰出金は、国保会計への保険給付費繰出金の減および下水道事業会計への事業費繰出金の減により、対前年8,373万円余

(3.4%)の減額となりました。

投資的経費は、まちづくり交付金事業、小中学校の耐震補強事業、防災行政無線同報系本統合事業などが減額となったことにより対前年8億2,774万円余(34.2%)の減額となりました。

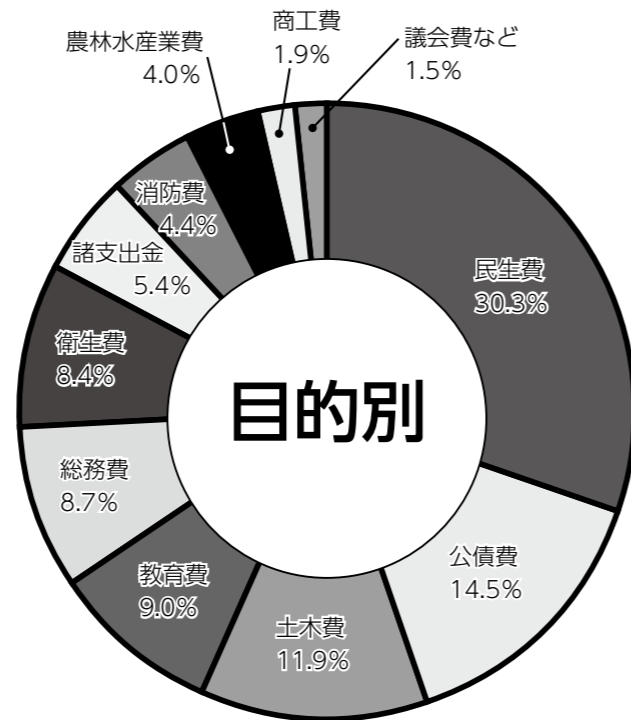
扶助費は、介護給付費や子ども医療費助成扶助の増加により対前年1億2,246万円余(5.1%)の増額となりました。

積立金は、財政調整基金への積立金の増により対前年1億6,035万円余(21.6%)の増額となりました。

【問い合わせ】  
財政課財政担当 (西館4階、内線2404)

### 平成23年度目的別歳出内訳

項目	金額	市民一人当たり
民生費	50億6,637万9千円	134,422円
公債費	24億1,324万9千円	64,029円
土木費	19億8,303万7千円	52,615円
教育費	15億527万7千円	39,938円
総務費	14億5,649万8千円	38,644円
衛生費	14億949万8千円	37,397円
諸支出金	9億51万3千円	23,893円
消防費	7億2,672万円	19,282円
農林水産業費	6億6,976万6千円	17,770円
商工費	3億1,730万6千円	8,419円
議会費	2億439万8千円	5,423円
労働費	4,205万6千円	1,116円
災害復旧費	736万3千円	195円
歳出合計	167億206万円	443,143円



▶子育て支援事業 池谷幸雄さんを講師に招いた「親子体操教室」

# 平成23年度 決算

市民の皆さんから納めていただいた税金などが、どのように使われ市の財政が運営されているのか、平成23年度決算の概要と現在の財政状況についてお知らせします。

平成23年3月に発生した東日本大震災は、東北・関東地方だけでなく日本全体の国民生活や経済活動に大きな影響をもたらしました。山梨市においても、計画停電による影響や節電対策、避難者への支援、放射能測定といった具体的な対応が迫られました。

このような厳しい状況下で、平成23年度はスタートしましたが、第1次山梨市総合計画の推進を図るため、子育て支援、高齢者の健康、エコライフの普及などの充実に向けた取り組みが進められました。

歳入総額	歳出総額	差引額	翌年度への繰越財源	実質収支額
177億2,611万1千円	167億206万円	10億2,405万1千円	4,066万7千円	9億8,338万4千円

# 一般会計 歳入

## 177億2,611万1千円

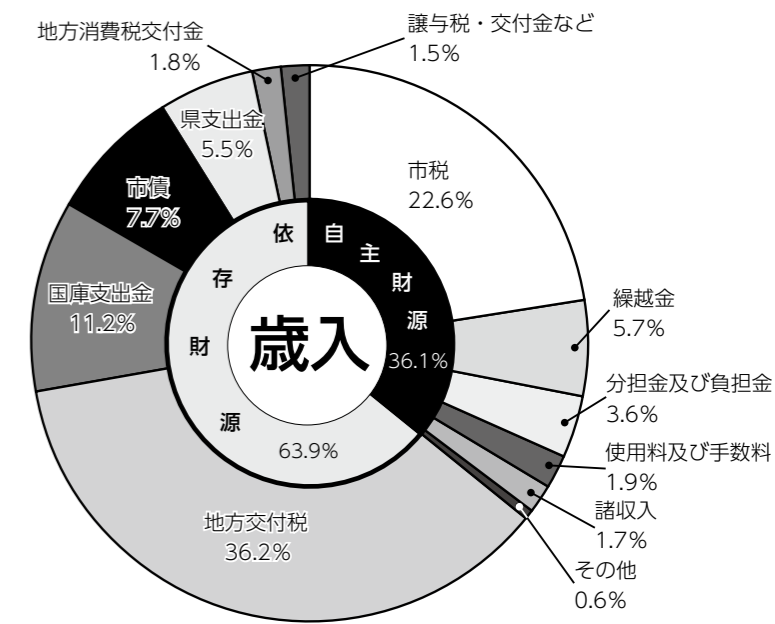
### 平成23年度歳入内訳

項目	金額
市税	39億9,871万9千円
繰越金	10億1,010万6千円
分担金及び負担金	6億3,540万7千円
使用料及び手数料	3億4,020万4千円
諸収入	3億601万3千円
繰入金	5,864万1千円
財産収入	2,787万7千円
寄附金	1,723万2千円
地方交付税	64億2,632万8千円
国庫支出金	19億7,958万7千円
市債	13億7,570万円
県支出金	9億7,496万6千円
地方消費税交付金	3億1,473万6千円
地方譲与税	1億4,851万9千円
地方特例交付金	5,104万9千円
自動車取得税交付金	3,660万円
利子割交付金	1,093万8千円
配当割交付金	682万8千円
交通安全対策特別交付金	501万9千円
株式等譲渡所得割交付金	164万2千円
歳入合計	177億2,611万1千円

一般会計歳入総額は、前年度より7億2,484万1千円(3.9%)減の177億2,611万1千円となりました。

自主財源では、市税が、景気低迷の影響を受けながらも4,281万円余の増収となったことや繰越金などが増えたことにより、前年度に比べると3億6,104万円余の増収となりました。

依存財源では、地方交付税は微増となりましたが、投資的経費充当補助金が減額となったことにより国庫支出金は減額、臨時財政対策債や投資的経費が減額となったことにより、地方債も減額となりました。このことにより、前年度に比べると10億8,588万円余の減額となりました。



# 山梨市の借入金残高

## 363億4,821万3千円

# 公債費

会計名	平成22年度末 未償還額	平成23年度償還額		平成23年度 借入額	平成23年度末 未償還額
		元金	利子		
一般会計	228億3,902万3千円	20億4,030万3千円	3億7,287万9千円	13億7,570万円	221億7,442万円
下水道事業特別会計	97億4,220万3千円	5億6,750万8千円	2億1,851万3千円	3億8,810万円	95億6,279万5千円
浄化槽事業特別会計	3億4,607万7千円	1,598万4千円	624万5千円	240万円	3億3,249万3千円
簡易水道事業特別会計	20億2,478万円	9,673万3千円	4,717万4千円	7,870万円	20億674万7千円
国民健康保険特別会計	1億3,017万4千円	1,859万6千円	0円	0円	1億1,157万8千円
水道事業会計	21億4,222万1千円	6,716万9千円	4,796万1千円	8,000万円	21億5,505万2千円
病院事業会計	907万2千円	634万4千円	21万8千円	240万円	512万8千円
合計	372億3,355万円	28億1,263万7千円	6億9,299万円	19億2,730万円	363億4,821万3千円

# 山梨市の預金残高

## 44億1,359万3千円

# 基金

基金名	平成22年度末 残高	平成23年度増減額		平成23年度末 残高
		積立	取崩	
財政調整基金	11億1,105万5千円	9億27万4千円	0円	20億1,132万9千円
市債管理基金	5億107万3千円	23万1千円	0円	5億130万4千円
地域振興基金	9億5,000万円	0円	5,000万円	9億円
地域福祉基金	4億5,256万4千円	0円	0円	4億5,256万4千円
中山間地域農村活性化基金	1,551万1千円	5千円	0円	1,551万6千円
若者定住促進支援基金	1,230万4千円	230万4千円	0円	1,460万8千円
土地開発基金	2億1,181万8千円	1,286万円	0円	2億2,467万8千円
住民生活に光をそそぐ基金	2,000万円	3千円	785万9千円	1,214万4千円
国民健康保険財政調整基金	1億3,322万1千円	0円	3,630万6千円	9,691万5千円
交通・火災災害共済見舞金支払準備基金	3,923万5千円	421万円	0円	4,344万5千円
介護保険給付費支払準備基金	1億9,568万7千円	4万7千円	5,635万1千円	1億3,938万3千円
介護従事者処遇改善臨時特例基金	170万6千円	1千円	0円	170万7千円
合計	36億4,417万4千円	9億1,993万5千円	1億5,051万6千円	44億1,359万3千円

# 財政状況

## ●公債費負担比率……17.6% (前年度比 +0.7%)

地方公共団体の公債費の財政負担の度合いを判断する指標。公債費（借入金の返済元金利子）に充てられた一般財源の一般財源総額に対する割合。15%…警戒ライン、20%…危険ライン。

## ●財政力指数……0.422 (前年度比 -0.015)

地方公共団体の財政力を示す指標。地方公共団体が、標準的に収入すると考えられる地方税などを妥当かつ合理的な平均水準で行政を行なう場合に要する経費で割った比率。指数が高いほど財源に余裕がある。

## ●経常収支比率……84.2% (前年度比 +2.8%)

財政構造の弾力性（ゆとり）を見るための指標。人件費など、毎年必ず必要とする経費を地方税や地方交付税などの比較的安定した収入で割った指標。80%以上…弾力性を失いつつある。

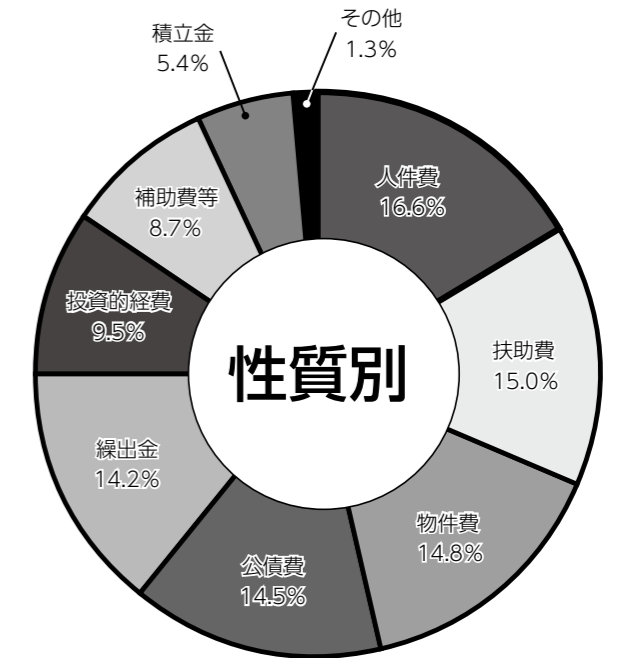
【問い合わせ】  
財政課財政担当（西館4階、内線2404）

# 歳出

# 一般会計

## 平成23年度性質別歳出内訳

項目	金額
人件費	27億7,493万1千円
扶助費	25億870万9千円
物件費	24億7,088万円
公債費	24億1,324万9千円
繰出金	23億6,963万6千円
投資的経費	15億9,068万円
補助費等	14億5,259万6千円
積立金	9億281万7千円
貸付金	1億4,524万円
維持補修費	7,332万2千円
歳出合計	167億206万円



# 特別会計

特別会計は、保険料や使用料などで賄う特別な業務で、一般会計と分けて経理することによって、収支をわかりやすくさせた会計です。

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険特別会計	43億6,224万8千円	43億6,224万8千円	
後期高齢者医療特別会計	3億4,066万7千円	3億4,063万5千円	3万2千円
交通・火災災害共済特別会計	1,374万9千円	953万9千円	421万円
下水道事業特別会計	13億4,858万8千円	13億3,258万8千円	1,600万円
浄化槽事業特別会計	6,256万6千円	6,256万6千円	
介護保険特別会計	30億6,773万6千円	30億6,229万9千円	543万7千円
居宅介護予防支援特別会計	1,572万3千円	1,572万3千円	
簡易水道事業特別会計	5億4,139万円	5億4,139万円	
活性化事業特別会計	9,498万6千円	9,498万6千円	
合計	98億4,765万3千円	98億2,197万4千円	2,567万9千円

# 公営企業会計

水道事業会計 損益計算書	営業収益	5億4,472万9千円	営業費用	5億7,426万9千円
	営業外収益	7,914万円	営業外費用	5,153万3千円
			特別損失	44万6千円
	経常利益			△193万3千円
	当年度純利益			△237万9千円
病院事業会計 損益計算書	医業収益	0円	医業費用	370万2千円
	医業外収益	392万2千円	医業外費用	21万8千円
	経常利益			2千円
	当年度純利益			2千円